

組織委員会がIOCに提案したコスト削減に係る25項目のうち
具体化している主な事例

- 仮設整備費（過去大会の知見を持ったコンサルを活用した CVE（※）による全会場の見直しの実施）
- 会場の貸借期間の短縮化
- 電力設備の二重化の要件の一部緩和
- 通信インフラの地中化の要件の一部緩和
- 観客の公共交通の無償化の取り止め
- 既存イベントのテストイベントへの活用

※CVE：整備条件を満たしつつ過剰な仕様を排除したり効率的な整備についての技術提案を行う通常のバリューエンジニアリング（VE）に加え、整備の前提となる条件（Condition）を含んだ聖域なき見直しの取組